

2019年度香川大学当初予算の概要

1. 予算編成の基本的な考え方

2019年度の予算編成は、厳しい財政状況の中、国の国立大学法人運営費交付金に「新しい評価・資源配分の仕組み」が導入され、一層の経営改革の推進が求められている。

平成28年度から開始した本学の第3期中期目標である「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」ことを理念とし、地域社会の課題解決に資する教育・研究等の実績を基に、地域活性化の中核的拠点としての機能強化を目指すとともに、特定の分野においては、教育研究の世界ないし全国的な展開に向け、着実に取り組むものとし、これまで以上に戦略的かつ効果的な予算編成を行うこととする。

特に、次の取組について重点的に推進する。

- ・組織改革、産学官連携体制の強化など、大学改革や機能強化の取組みを推進する。
- ・イノベーションの創出等の取組みに向け、DRI教育を推進する。
- ・運営費交付金の「新しい評価・資源配分の仕組み」の導入を踏まえ、研究教育の充実や経営基盤の強化にかかる取組みを推進する。
- ・経費の見直しを積極的に行い、限られた財源を効果的に活用することにより、教育研究及び地域貢献を積極的に推進する。

2. 予算規模と収支内訳

(1) 予算規模は、前年度より約1,531百万円増加の34,662百万円

(単位：百万円,%)

区 分	2019年度	2018年度	増 減 額	増 減 率
附属病院以外	13,055	13,019	36	0.3
附属病院	21,607	20,112	1,495	7.4
合 計	34,662	33,131	1,531	4.6

(2) 収入内訳

運営費交付金 1 6 7 百万円の減少、学生納付金 3 0 百万円の増加、附属病院収入 1, 6 3 2 百万円の増加等

(単位：百万円, %)

区 分	2019年度	2018年度	増 減 額	増 減 率	2019年度収入割合
運営費交付金	10, 505	10, 672	▲167	▲1. 6	30. 3
学生納付金	3, 876	3, 846	30	0. 8	11. 2
附属病院収入	19, 859	18, 227	1, 632	9. 0	57. 3
雑収入、間接経費収入	322	266	56	21. 1	0. 9
目的積立金繰入	100	120	▲20	▲16. 7	0. 3
合 計	34, 662	33, 131	1, 531	4. 6	100. 0

(3) 支出内訳

人件費 2 5 0 百万円の増加、学長戦略経費 3 7 百万円の減少、教育・研究経費 2 8 百万円の増加、診療経費 1, 2 8 6 百万円の増加等

(単位：百万円, %)

区 分	2019年度	2018年度	増 減 額	増 減 率	2019年度支出割合	
人件費	18, 059	17, 809	250	1. 4	52. 1	
物件費	15, 748	14, 480	1, 268	8. 8	45. 4	
内 訳	学長戦略経費	600	637	▲37	▲5. 8	1. 7
	教育・研究経費	1, 755	1, 727	28	1. 6	5. 1
	診療経費	12, 172	10, 886	1, 286	11. 8	35. 1
	一般管理費等	1, 221	1, 230	▲9	▲0. 7	3. 5
借入金償還経費	850	837	13	1. 6	2. 5	
予備費	5	5	0	0	0. 0	
合 計	34, 662	33, 131	1, 531	4. 6	100. 0	

①人件費

給与は、附属病院の看護師、医員など職員の増加等により、対前年度比で 2 7 4 百万円の増加とした。

また、退職手当額は、退職者の減少により、2 4 百万円の減少とした。

(単位：百万円, %)

区 分	2019年度	2018年度	増 減 額	増減率
給 与	17, 239	16, 965	274	1. 6
退職手当	820	844	▲24	▲2. 7
合 計	18, 059	17, 809	250	1. 4

②学長戦略経費事業の推進

学長戦略経費は、学長のリーダーシップのもと、第3期中期目標・中期計画を実行するため、本学の機能強化や組織改革等の大学改革などの取り組みを、戦略的かつ効果的に推進するため、600百万円とした。

【大学改革の推進】	210百万円	
・創造工学部の設置等に伴う施設整備等		85百万円
・創造工学部の教育研究基盤設備の整備		22
・医学部臨床心理学科設置に伴う設備の整備		4
・香川大学ブランドイメージの強化		5
・新学部・新学科等を設置した経済学部・医学部・創造工学部の広報活動の展開		3
・大学改革加速化経費		51
・環境整備費		40

【教育の充実】	92百万円	
・全学共通DRI教育推進事業		9百万円
・DRI教育機能強化事業		6
・データサイエンスに関わる基礎教育を全学波及させるためのe-Learning科目の開発と運用		10
・4&1プラン推進関連「外国人留学生渡日生活支援事業」「日本人学生海外派遣支援事業」		5
・農学系グローバル人材育成事業		4
・グローバル人材育成のための教育プログラムの強化		1
・ネクストプログラムの推進		10
・附属学校園の教育環境の整備		30
・教育推進事業経費		9
・学生支援プロジェクト経費		8

【研究の推進】	110百万円	
・国際希少糖研究教育機構による希少糖生産と応用技術の国際的な研究教育拠点の形成		25百万円
・健康イノベーションの創出事業		10
・微細構造デバイス技術を利用した医農工分野の開拓的研究の推進		6
・赤外分光イメージング製品群の創出事業		5
・植物ゲノム技術を用いた地域植物遺伝子資源からの		

高品質新品種開発に向けた分子育種研究・教育の拠点形成	1 3
・異分野融合研究、若手研究等を支援する研究推進事業	5 1

【地域貢献】 8 7 百万円

・四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構による教育研究の機能強化と地域強靱化研究拠点の形成	4 3 百万円
・地方創生に資する産学官連携体制の整備	2 3
・地域連携推進プロジェクト支援事業	6
・サテライトオフィスの運営事業	4
・かがわ遠隔医療ネットワーク及びかがわ医療情報ネットワークによる遠隔医療及び地域医療の連携・推進	4
・イノベーションデザイン研究所における活動等	2
・瀬戸内国際芸術祭2019作品出展事業	5

3. 附属病院事業

附属病院における収入においては、診療単価や病床稼働率の上昇とともに中期経営計画を考慮した収入予算額とした。

附属病院における支出においては、再開発工事完了による稼働病床数の増加に伴う看護師、医員等の増加などにより、人件費274百万円（3.4%増）の増加とした。

また、患者数の増に伴う医療費の増加や高額医薬品の使用量の増加に伴う影響等があり、物件費1,208百万円（10.8%増）の増加とした。

(単位：百万円, %)

区 分		2019年度	2018年度	増 減 額	増減率 (%)
収 入	附属病院収入	19,859	18,227	1,632	9.0
	運営費交付金等	1,748	1,885	▲137	▲7.3
	計	21,607	20,112	1,495	7.4
支 出	人件費	8,403	8,129	274	3.4
	物件費	12,354	11,146	1,208	10.8
	債務償還経費	850	837	13	1.6
	計	21,607	20,112	1,495	7.4

4. 施設整備計画

施設整備計画は別表のとおりである。

5. 外部資金等による主な事業

2019年に本学において外部資金等を活用することにより取り組む主な事業については、次のとおりである。

(単位：千円)

事業名	事業概要	2019年度事業費
<p>地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業「うどん県で働こうプロジェクト～能動学修による地域の魅力発見」）</p> <p>（事業年度）平成27年度～平成31年度</p>	<p>地方への人口集積等を推進するため、香川県内における4大学等が、地域活性化政策を担う地方公共団体、人材を受け入れる企業や民間団体等と協働して、地域が求める人材を養成し、香川における雇用創出や学卒者の地元定着率の向上を推進するもの。</p> <p>1. 教育プログラム関係事業 ・地域志向教育推進事業 ①能動学修、PBLの実施 ②地域人材育成の実施 ③大学連携科目の実施</p> <p>2. 就職プログラム関係事業 ①学生の地域就職支援事業 ②地域企業等の魅力を伝える事業</p>	23,100
<p>地域イノベーション・エコシステム形成プログラム「かがわイノベーション・希少糖による糖資源開発プロジェクト」</p> <p>（事業年度）平成29年度～平成33年度</p>	<p>香川大学が保有する希少糖に関する知識とノウハウを活用し、香川県や企業と連携することで、香川の希少糖ブランドを確立することにより、地域の一大産業へ成長させることを目指す。また、希少糖研究の研究シーズの事業化を推進する。</p> <p>① D-フシコ-ス-プロジェクト（天然・カロリーゼロの機能性甘味料） ② D-70-ス-プロジェクト（医療用食品） ③希少糖X・プロジェクト（次世代農業資材：非組み換え種子と食べられる除草剤）</p>	150,450

<p>地方と東京圏の大学生対流促進事業（うまげなかがわ感じてみまい！うどん県住みます学生プロジェクト）</p> <p>（事業年度）平成30年度～平成33年度</p>	<p>香川大学、芝浦工業大学のそれぞれが持つ強みや地域性を活かした取り組みを共有し、学生自身が交流を通して学び合うことで、地域課題を解決する考え方を身につけることを目指す。</p> <p>①瀬戸内・香川を知る e-Learning 科目の開講</p> <p>②香川県の自治体や地域コミュニティとの連携による「地域インターンシップ」への参加</p> <p>③香川大学生による地域貢献プロジェクトの参加</p> <p>④瀬戸内国際芸術祭 2019 に向けたアートプロジェクトへのスポット参加</p>	<p>29,780</p>
--	---	---------------

平成31年度 国立大学法人等施設整備費にかかる施設整備計画

事業名		事業概要	財源内訳
幸町	総合教育棟(DRI棟) 改修事業	大学改革に伴い、経済学部南1号館をDRI教育の推進や地域活性化の拠点として、地域連携、ICT環境、アクティブ・ラーニング・スペースを整備し、全学共用化を行う。	施設整備費補助金
幸町	総合教育棟(北5号館) 改修事業	大学改革に伴い、幸町キャンパスの主要建物である教育学部北5号館の2・3階の共用化改修を行い、ICT環境と新たに創造工学部のスペースを整備し、全学共用化を行う。	施設整備費補助金
幸町	ライフライン再生事業 (電気設備)	老朽した電気設備の更新を行う。また、BCP対策として既存不適格EV(エレベーター)の更新を行う。	施設整備費補助金
三木町農学部	ライフライン再生事業 (給排水設備)	老朽した給水、ガス、電気設備の更新を行う。また、揚水設備の更新により、環境負荷の低減を図る。	施設整備費補助金
附属病院	基幹・環境整備 (屋外環境整備等)	病院正門ロータリーを改修する。また、根詰まり・漏水が頻発している屋外排水管の更新や、屋外照明設備の更新及び屋上防水の補修を行う。	施設整備費補助金 長期借入金
附属病院	大学病院設備整備	PET/CTシステム、全身用X線CT診断装置の整備	財政投融资
その他	施設費交付事業	老朽施設の改修、修繕	施設費交付金